

第5回下水道グローバルセンター審議会開催概要(平成25年9月18日)

日本下水道協会は、下水道グローバルセンター(GCUS)の事務局としてその活動を支援する様々な業務を行っています。

その一環として、GCUS 活動に対する意見や助言をいただくことを目的に、学識経験者やジャーナリスト、並びに自治体・民間企業等の代表者を委員とする「審議会」を年1回開催しており、本年は9月18日に第5回下水道グローバルセンター(GCUS)審議会を当会5階大会議室において開催しました。

今回は、楠田座長(九州大学東アジア環境研究機構特別顧問・名誉教授)ほか19名の審議会委員(代理出席含む)、委員随行者、GCUS 構成団体、プレス等の参加を得て開催されました。

議事では、始めに国土交通省より平成24年度の活動報告として、主要国における主な活動(アジア、中東、アフリカ、欧州)や現地国の規格策定/国際標準化に向けた活動等、プロジェクト形成支援活動の進捗報告や海外下水道関係団体とのネットワーキング・ニーズマッチングとして、海外及び国内での国際会議・セミナーなどの開催状況等について報告がありました。

引き続き、平成25年度の活動について、

- 1) 世界の水・衛生問題等の解決に向けた国際貢献
- 2) 下水道関連企業のビジネス展開支援
- 3) 国内下水道施策への還元

の3つを重点活動事項として説明されました。

委員からは、GCUS の活動は幅広く行われており、評価できるものの、欧米の企業が持っていない力を日本が持っているにもかかわらず事業の継続が難しく、今後は具体的な成果に結び付けられるよう取り組むべきとのご意見を頂きました。また、GCUS がインフラ輸出の支援組織として活動して頂きたいとの要望もありました。

GCUS では、審議会でのご意見を踏まえて、今後とも世界の水・衛生問題の解決と我が国民間企業の水ビジネス国際展開の支援を進めて参ります。

引き続き、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

